

留学の手引き



東京藝術大学
国際企画課

平成 27 年 12 月改訂

目 次

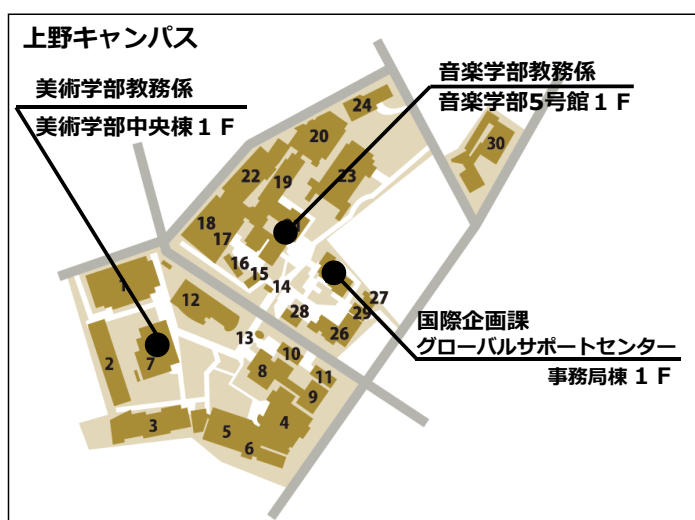
1. 留学に関する相談について P 2
2. 留学の種類について P 3
3. 留学情報収集について P 4～6
4. 語学能力について P 7～16
5. 留学費用について P 17
6. 奨学金について P 18～22
7. 危機管理・保険について P 23～26
8. その他 P 27

1. 留学に関する相談について

交換留学のことや各大学の情報、また語学試験に関するアドバイスなど、留学に関する様々な質問や相談があれば、気軽に下記の担当窓口を訪ねてください。

<留学に関する相談>

相談内容	相談先	開室時間	電話
美術学部 交換留学	美術学部教務係	平日9:00～16:30 (昼休み12:30～13:30を除く)	050-5525-2122
音楽学部 交換留学	音楽学部教務係		050-5525-2308
映像研究科 留学全般	映像研究科教務係	平日9:00～17:00 (昼休み12:30～13:30を除く)	050-5525-2671
その他の留学	事務局国際企画課 *グローバル サポートセンター	平日8:30～17:00 (昼休み12:30～13:30を除く)	050-5525-2067



*グローバルサポートセンターとは？

本学のグローバル化を推進するための学内組織です。

主に以下の活動を行っています。

- ・ 海外留学経験者、語学に長けたスタッフによる留学生・留学希望者支援
- ・ 留学、国際交流、奨学金、留学体験談などの情報発信
- ・ 日本人学生と留学生の交流イベント
- ・ 語学の特別講座

2. 留学の種類について

海外へ留学する機会には、「交換留学」と「一般留学」とがあります。

(1) 交換留学

交換（派遣）留学制度とは本学と学生交流協定を結んでいる海外の大学へ、本学に在籍している学生が在籍したまま留学する制度です。

募集人数は、各協定校につき原則1名で、派遣される学生は学内選考（書類選考、面接）で決定します。

募集要項発行は、例年7月頃です。（※美術学部の場合）

応募資格、必要書類については、各学部等教務係でお尋ねください。

(2) 一般留学

一般留学では、上記の交換留学制度を利用せず、留学先の選択や、手続きをすべて個人で行います。情報収集や手続きについては、在日の各国留学情報提供機関などで指導してもらえますが、確実な情報を得るためには留学を希望する大学へ直接問い合わせをすることをお勧めします。

備考：留学することにより、卒業（修了）時期が延びる場合があります。留学計画をたてる際には、履修計画について、指導教員、各学部等教務係とよく相談してください。

<交換留学と一般留学の比較>

	交換留学	一般留学
留学先	本学と学生交流協定を結んでいる海外の大学	留学を希望する大学
手続き	本学各学部の教務係を通して行う	全て本人が行う
留学期間	3か月以上～最長1年以内	本人次第 ただし休学する際は2年以内
在籍身分	在学／休学	在学／休学
先方での授業料	免除 (一部の大学では自己負担あり)	私費
藝大の授業料	休学の場合：なし 在学の場合：授業料を納める	
応募資格	派遣先大学の指定条件を満たす者 ※詳細は各学部の交換留学の募集要項を参照	留学先の大学による
単位互換	原則として、本学の単位として認定しない	

3. 留学情報収集について

各学部等教務係、国際企画課でも留学情報を提供していますが、各自で留学先(国の事情や大学、渡航手続等)について事前に調べておくことにより、留学準備が円滑に行えます。以下に、主な国の留学情報提供機関を紹介しますので参考にしてください。

◇留学全般に関する情報

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO) [海外留学支援サイト]

独立行政法人日本学生支援機構 海外留学情報	
所在	〒135-8630 東京都江東区青梅 2-2-1
電話	03-5520-6111
ウェブサイト	http://ryugaku.jasso.go.jp/

◇各国留学情報提供機関・サイト

国名	機関名	所在地・電話番号・相談可能時間等
アメリカ 	日米教育委員会 (フルブライト・ジャパン)	〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-14-2 山王グランドビル 207 号 電話：03-3580-3231 (留学相談一般については、月～金 13:00-17:00) http://www.fulbright.jp/
イギリス 	SI-UK Education Council (Tokyo)	〒150-0041 東京都渋谷区神南 1 丁目 16-3 ブルヴァールビル 5F 電話：03-5272-9143 開室時間：月～金 10:00-21:00、土 10:00-19:00、 日 10:00-18:00 http://www.ukeducation.jp/
	ブリティッシュ・カウンスル 東京センター	〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 1-2 電話：03-3235-8031 (火～金 9:30-17:00) 英国の説明会を開催することがある。 個人の英国留学個別相談には応じていない。 英国留学に関する資料の閲覧サービスは終了。 http://www.britishcouncil.jp/studyuk

国名	機関名	所在地・電話番号・相談可能時間等
フランス 	CampusFrance (フランス政府 留学局・ 日本支局)	〒106-8514 東京都港区南麻布 4-11-44 在日フ ランス大使館内 電話：03-5798-6266 業務時間：月～金 9:00-18:00 電話受付：月～金 14:00-18:00 留学に関する個別相談：月～金 14:30-17:00 (要電話予約) http://www.japon.campusfrance.org/ja
ドイツ 	DAAD ドイツ学術交流会	〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-56 ドイツ文化 会館内 電話：03-3582-5962 月～金 9:00-12:30/13:30-17:00 (一般の訪問受付時間は 14:00-17:00) http://tokyo.daad.de/wp/category/ja_news/
	ゲーテ・インステ イトゥート 東京	〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-56 ドイツ文化会館内 電話：03-3584-3201 図書館開室時間： 月～金 10:00 - 19:00 土～日 11:00 - 17:00 http://www.goethe.de/ins/jp/ja/tok.html
イタリア 	イタリア文化会館	〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-1-30 電話：03-3264-6011 事務室開室時間： 月・水 10:00-13:00 / 14:00-18:30 火・木・金 10:00-13:00 / 14:00-18:00 http://www.iictokyo.esteri.it/IIC_Tokyo
フィンランド 	駐日フィンランド 大使館	〒106-8561 東京都港区南麻布 3-5-39 電話：03-5447-6000 執務時間： 月～金 9:00-12:00/13:00-17:15 領事部受付時間： 月～火, 木～金 9:00-12:00 水 9:00-12:00/13:00-17:00 http://www.finland.or.jp/Public/Default.aspx

国名	機関名	所在地・電話番号・相談可能時間等
オーストラリア 	オーストラリア政府 公式 留学情報ウェブサイト	〒108-8361 東京都 港区三田 2-1-14 (在日オーストラリア大使館) 電話：03-5232-4111 問い合わせ時間 月～金 9:00 - 12:30/ 13:30 - 17:00 http://www.studyinaustralia.gov.au/japan
中国 	中華人民共和国 駐日本国大使館	〒106-0046 東京都港区元麻布 3- 4-33 電話：03-3403-3388 月～金 9:00-12:00 http://www.china-embassy.or.jp/jpn/
	日中友好協会 留学センター	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-4 日中友好会館 6 階 電話：03-3291-4231 月～金曜日 10 時～17 時 (土日祭日は休み) 無料カウンセリングメール：ryugaku@j-cfa.com http://www.j-cfa.com
韓国 	National Institute for International Education 「Study in Korea」 (韓国の公式 留学サイト)	81 Ihwajanggil, Jongno-gu, Seoul. Korea, Postal code:100-810 電話：82-2-3668-1490-1 e-mail: webmaster@studyinkorea.go.kr http://www.studyinkorea.go.kr/ja/main.do

◇その他

- ・留学説明会や語学試験、奨学金等の情報が上野キャンパス事務局棟 1 階の国際企画課前に掲示してあります。
- ・本学のホームページから、海外に留学した学生の「海外留学体験記」を閲覧することもできます。

東京藝術大学 海外留学体験記

<http://taikenki.geidai.ac.jp/>



4. 語学能力について

多くの大学機関が留学の応募資格として語学能力試験のスコアを課しています。一般的に留学要件として求められるテストを紹介します。

また、先方の大学がスコアを要求することがなくとも、授業のみならず留学先で生活をする上で語学能力を向上させる必要がありますので、受験をお勧めします。

< 語学試験の紹介 >

◇英語の試験について

(1) TOEFL® (Test of English as a Foreign Language)

TOEFL テストのスコアは、アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、カナダの大学をはじめとした、130 か国 9,000 以上の機関が、英語能力の証明、入学や推薦入学、奨学金、卒業の基準として採用しています。

現在は、TOEFL iBT テストが主流です。日本では TOEFL PBT テストは 2007 年 11 月以降実施されていません。

	TOEFL® (Test of English as a Foreign Language)
種類	◎iBT (Internet-based Test): インターネットを介して実施するテスト。 現在、日本で公式スコアを取得するにはこのテストの受験が必須。 大学レベルの英語を使用、理解する能力を測定するため、学術的な問題形式。海外の大学も多くがiBTのスコアを要求。
	現在は主にiBTのスコアが要求されますが、その他のテスト形式もあります。 • PBT (Paper-based Test) : 2007年まで日本で実施されていたペーパーでのテスト。 Speakingは測定されない。 • ITP (Institutional Test Program) : iBTよりも簡略化された団体用のテスト。 ペーパーでの実施。公式スコアとしては認められない。 受験料は公式テストの約6分の1。 本番前の経験として受験するのに最適な仕様。 PBTのために制作された多くの問題を使用。

受験料	Regular registration (テスト日の7日前までに申し込む場合) US\$230 Late registration (テスト日の4日前までに申し込む場合) US\$270 ※受験料および手数料は予告なく変更の可能性があります。 ETSの公式サイトで事前にお確かめください。
テストの特徴	指定の試験会場 (テストセンター) にて、受験。 4つのスキル(Reading, Listening, Speaking, Writing) について1日でテストする。 テスト全体の所要時間は約4 時間 30 分。 Speakingは試験中に録音したものを採点チームに提出。
問題構成	• Reading : 3 ～ 4 パッセージ 60分～80分 • Listening : 講義 4 ～ 6 題、会話 2 ～ 3 題 60分～90分 • Speaking : 全 6 問 20分 • Writing : 2 題 50分 <u>合計 約4時間30分</u> * ListeningとSpeakingの間に10分間の休憩 * Writingはタイピングにて行う * メモ用紙が渡されるので各セクションでメモを取ることができる
スコア	0～120 (各セクション30点ずつ) ※留学には80～100が要求されることが多く、 「各セクション20点以上」等の条件を求められることもあります。
試験日	年間 50 回以上開催
実施団体	米国、Educational Testing Service(ETS)
参照	ETSの公式サイト
	http://www.ets.org/ip/toefl/
	TOEFL® テスト日本事務局
	http://www.cieej.or.jp/toefl/index.html

TOEFL iBT 試験日 (2015 年～2016 年)

月	日				
12月	5日(土)	12日(土)	13日(日)	19日(土)	20日(日)
1月	9日(土)	23日(土)	24日(日)		
2月	13日(土)	28日(日)			
3月	13日(日)	19日(日)	26日(土)		
4月	9日(土)	23日(土)			
5月	7日(土)	22日(日)	28日(土)	29日(日)	
6月	4日(土)	18日(土)	25日(土)		

※試験日は追加・変更の可能性があります。最新情報を公式サイトで確認してください。

(2) IELTS (International English Language Testing System)

イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドの大学や大学院では、IELTS のアカデミック・モジュールでのスコアを入学選考基準として採用しています。留学、海外での就職、移住などのために英語力を証明するための試験として世界 135 カ国、合計 9,000 機関が認定しており、英語力証明のグローバルスタンダードテストとして認知されています。世界で年間 250 万人が受験しています。

	IELTS (International English Language Testing System)
種類	◎Academic (アカデミック・モジュール) 学術的な内容で、一般的に高等教育機関に留学申請をする際には、こちらのスコアを要求。
	General Training (ジェネラル・トレーニング・モジュール) 海外での就職活動や移住の申請等のために受験する人はこちらを受験することが一般的。 ReadingとWritingは、アカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールで出題内容が異なる。
受験料	25,380円 (税込)
テストの特徴	筆記形式のテスト。ただし、Speakingは対面方式で実施。 Listening、Reading、Writingの筆記試験は同日に実施。 ※Speakingの試験日より、試験日が2日間にわたることがある。 (筆記試験の前後6日以内に実施) テスト全体の所要時間は3時間以内。 受験時にはパスポートの原本が必要。
問題構成	・ Listening : 全40問 30分 ・ Reading : 全40問 60分 ・ Writing : 全2問 60分 ・ Speaking : 11～14分 *既出のとおり、Speakingは筆記試験の翌日に行われることが多い 合計 約2時間45分
スコア	1.0～9.0 (0.5刻み) 各パートにスコア (バンドスコア) がつけられ、その平均点がOverAllバンドスコア (総合英語力評価) として示されます。 留学の申請には6.5以上を要求されることが一般的です。

試験日	全国18都市で開催 東京・大阪会場ではほぼ毎週行われていますが、その他の都市では開催日が非常に少ない都市もあります。
実施団体	ブリティッシュ・カウンシル、IDP : IELTS オーストラリア、ケンブリッジ大学英語検定機構が共同運営で保有。 ※日本では公益財団法人 日本英語検定協会が実施運営
参照	公益財団法人 日本英語検定協会（テストの申し込み等）
	http://www.eiken.or.jp/ielts/
	ブリティッシュ・カウンシル（IELTSとは） http://www.britishcouncil.jp/exam/ielts

IELTS アカデミック・モジュール試験日
東京テストセンター（2015 年～2016 年）

月	日	Speakingテスト 実施日	Speakingテスト 同日実施の有無
12月	5日	11月25日	無
	12日	6日	有
1月	9日	同日	有
	23日	17日	有
	30日	24日	有
2月	13日	7日	無
	20日	14日	有
	27日	21日	無
3月	5日	2月28日	無
	12日	6日	有
	19日	13日	無

※IELTS は試験の申し込み期限が 1 か月以上前に設定されていますので受験を希望する際には、注意してください。

◇英語以外の語学能力試験

英語以外の語学能力については、例えば表に挙げた試験があります。留学先の大学により試験および入学に必要なレベルが異なりますので、留学を希望する大学のウェブサイトで確認することをお勧めします。

(参考)

言語	試験名	目安のレベル	関 連 機 関
フランス語	フランス語 能力テスト TCF	Niveau B2	CIEP（国際教育研究センター） http://www.ciep.fr/tcf （フランス語）
	フランス語資格試験 DELF	B2	アンスティチュ・フランセ関西 一大阪 DELF・DALF 試験管理センター http://www.delfdalf.jp/
			（参考）アンスティチュ・フランセ日本 http://www.institutfrancais.jp/tokyo/apprendre/examens/
ドイツ語	ドイツ語検定試験 TestDaF	TDN 4	東京ドイツ文化センター http://www.goethe.de/ins/jp/ja/tok/lrn/prf/tdf.html
	ゲーテ・インスティ トゥートの検定試験	B1~B2	ゲーテ・インスティトゥート http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/jaindex.htm
イタリア語	イタリア語検定試験 CILS	CILS DUE - B2	イタリア文化会館 http://www.iicosaka.esteri.it/IIC_Osaka/Menu/Imparare_Italiano/Certificazioni/
中国語	中国語検定 HSK	（学部） 5～6級 （大学院） 7～8級	HSK 日本実施委員会 http://www.hskj.jp/
韓国語	韓国語能力試験 TOPIK	5 級	公益財団法人 韓国教育財団 http://www.kref.or.jp/examination/topik

◇CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）

CEFR とは、Common European Framework of Reference for Languages の略称です。20 年以上の研究の末、2001 年に、欧州評議会（Council of Europe）によって公開された枠組みで「ヨーロッパの言語教育の向上のために基盤を作ること」を目標としています。言語の枠や国境を越えて、異なる試験を相互に比較することが可能です。現在は、欧州を中心に各地で利用され、39 言語に対応しています。

CEFR は、外国語の熟達度を A1、A2、B1、B2、C1、C2 の 6 段階に分けて説明しています。CEFR の等級は、その言語を使って「具体的に何ができるか」という形で言語力を表す「can-do descriptor」を用いて分かりやすく示しています。

＜ 6 段階の共通参照レベル (Six levels of foreign language proficiency) ＞

基礎段階の 言語使用者 Proficient User	C2	ほぼすべての話題を容易に理解し、その内容を論理的に再構成して、ごく細かいニュアンスまで表現できる
	C1	広範で複雑な話題を理解して、目的に合った適切な言葉を使い、論理的な主張や議論を組み立てることができる
自立した 言語使用者 Independent User	B2	社会生活での幅広い話題について自然に会話ができ、明確かつ詳細に自分の意見を表現できる
	B1	社会生活での身近な話題について理解し、自分の意思とその理由を簡単に説明できる
基礎段階の 言語使用者 Basic User	A2	日常生活での身近なことがらについて、簡単なやりとりができる
	A1	日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができる

参照

・ NHK 出版 速報ガイド英語テキスト 15 分でわかる！英語力測定テスト 2015

<<http://eigoryoku.nhk-book.co.jp/cefr.html>>（参照 2015/12/11）

・ 株式会社グローバル・コミュニケーション&テストイング CEFR

<<https://gc-t.jp/news/20141022/140/>>（参照 2015/12/11）

・ ブリティッシュ・カウンシル、CEFR

<https://www.britishcouncil.jp/sites/default/files/jiao_cai_nonan_yi_du_tocefring_yu_li_jian_ding_shi_yan_0.pdf>（参照 2015/12/11）

・ Council of Europe Education and Languages, Language Policy

<http://www.coe.int/t/dg4/linguistic/cadre1_en.asp>（参照 2015/12/11）

<各言語の資格・検定試験と CEFR のレベル>

	英語		フランス語		ドイツ語		イタリア語	中国語
	TOEFL iBT (Total)	IELTS (Band Score)	DELTA/DALF	TCF	TestDaF	Goethe -Zertifikat	CILS	HSK
C2		9	DALF C2	C2		C2	QUATTRO – C2	6級
C1	95～	7～8	DALF C1	C1	4～5	C1	TRE – C1	5級
B2	72～	5.5～6.5	DELTA B2	B2	3～4	B2	DUE – B2	4級
B1	42～	4～5	DELTA B1	B1		B1	UNO – B1	3級
A2			DELTA A2	A2		A2	A2	2級
A1			DELTA A1	A1		A1	A1	1級

※上記は目安です。定めている機関等により、基準のばらつきがあります。

参照

・ ETS TOEFL®, Compare TOEFL® Scores

<<https://www.ets.org/toefl/institutions/scores/compare/>> (参照 2015/12/11)

・ IELTS, Common European Framework

<http://www.ielts.org/researchers/common_european_framework.aspx> (参照 2015/12/11)

・ DELTA-DALF, Bienvenue sur le site des DELTA-DALF!

<<http://www.deltadalf.fr/index.html>> (参照 2015/12/11)

・ 在日フランス大使館, TCF (フランス語学力テスト)

<<http://www.ambafrance-jp.org/TCF>> (参照 2015/12/11)

・ TestDaF, Beschreibung der TestDaF-Niveaustufen (TDN)

<<https://www.testdaf.de/fuer-teilnehmende/informationen-zum-testdaf/testdaf-niveaustufen/>> (参照 2015/12/11)

・ GOETHE INSTITUT, CEFR: Common European Framework of Reference for Languages

<<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/enindex.htm#ger>> (参照 2015/12/11)

・ Il Centro, CILS I LIVELLI CILS

<http://cils.unistrasi.it/79/82/I_LIVELLI_CILS.htm> (参照 2015/12/11)

・ HSK, HSK は世界共通基準の資格

<<http://www.hskj.jp/hskis/world.html>> (参照 2015/12/11)

◇学内での語学学習支援について

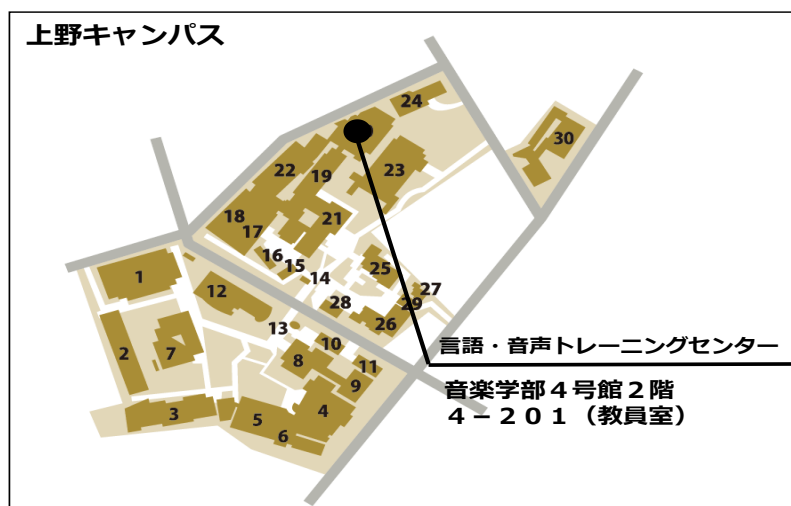
(1) 言語・音声トレーニングセンター

国際舞台で活躍するために必要な語学力を養成するためのさまざまな授業や学習支援プログラムを提供しています。また、各種外国語の学習に役立つ教材を所有しており、それらの教材を自由に利用できます。

英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語の授業を開設しており、美術・音楽の学部・大学院、映像研究科のいずれの学生も履修可能です。(履修要件があります。)

教材は開設授業を受けていなくても、申請書を記入して申し込みをすれば利用できます。一部の教材は持ち出しができませんがセンター内での閲覧が可能です。

開設授業や教材の利用方法等、詳細については以下にお問い合わせください。



言語・音声トレーニングセンター

場所：上野校地 音楽学部4号館2階4-201 (教員室)

利用時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00

電話：050-5525-2461

※利用時間は、日によって異なる場合があります。教員室(4-201)扉にある、開室日時カレンダーで確認してください。

※春期、夏期、冬期の休室に関しては、学部の休暇に準じます。

(2) グローバルサポートセンター

特別集中講義を不定期に開講しています。開催する際は、国際企画課前等に掲示します。

(3) e ラーニング教材

国際企画課にて TOEIC 対策と TOEFL 対策の 2 種類の e-learning 教材を提供しています。

※平成 27 年度は受付を終了しました。

利用状況によっては順番待ちになる場合があります。

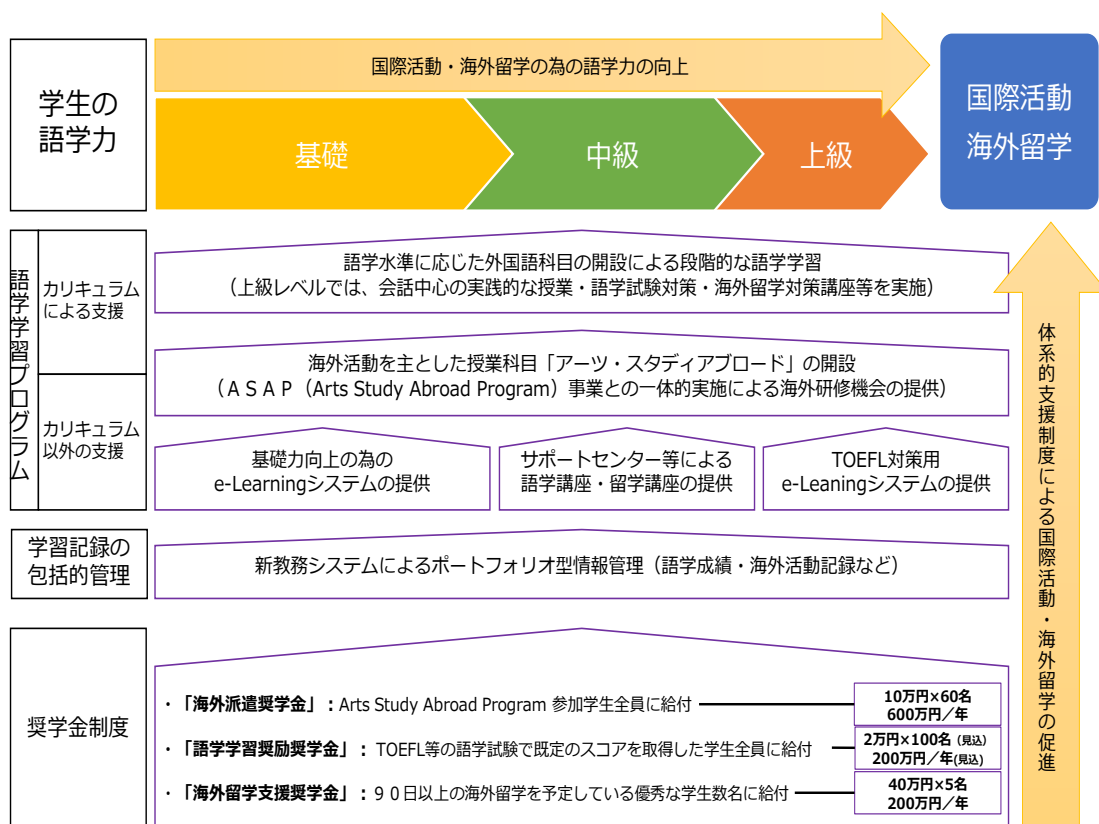
関心がある方は、国際企画課にお問い合わせください。

【問い合わせ先】 国際企画課国際企画係

メール：international@ml.geidai.ac.jp

電話：050-5525-2775（内線：2853）

学内での海外留学・語学学習を支援する制度について



※「海外派遣奨学金」については ASAP の参加者数等によって金額が変動することがあります。

5. 留学費用について

留学するにあたっては、滞在中にどのくらい費用が必要なのか検討し、十分な資金を準備しておくことが大切です。交換留学の場合、派遣先大学には授業料を納める必要はありませんが（一部の大学を除く）、渡航費、滞在費（寮またはアパートの宿舍費）、生活費等は必要です。これらの費用は滞在国や地域により大きく異なり、個人差もありますが、一般的には年間 250～600 万円ほどかかります。具体的な予算は過去に留学経験のある先輩や、現在留学中の人に聞くなど、いろいろな方法で情報を集めておきましょう。

参考までに留学の際に想定される支出項目を紹介します。

<留学費用項目チェックリスト>

留学前	01	ビザ申請料金	学生ビザの申請料金など
	02	海外保険料	海外保険加入料
	03	渡航費	往復の渡航費、空港送迎費など
留学中	01	宿舍費	学生寮、アパート、ホームステイなど
	02	食費	寮での食事、自炊、外食費など
	03	学費	語学学校の費用、授業料 (多くの大学では、交換留学の場合は免除されます)
	04	教材費	授業で使用する教材、語学学習のための教材
	05	交際費	学校行事、友人との付き合い、旅費など
	06	交通費	通学費（バスや電車の定期券）など

また、ビザ申請時に銀行の残高証明を予め提示する必要がある国があります。ご自身の渡航先のビザ申請書類を事前に確認しておくことを推奨します。
(参考：イギリスの VISA の申請の場合には、7 か月分の生活費が入った銀行の残高証明)

6. 奨学金について

◇学内の奨学金

今年度から学内でも留学支援を目的とした奨学金制度を設立しました。

(1) 「海外留学支援奨学金」

海外留学支援奨学金	
対象	半年以内に、90 日以上 of 海外留学を予定している優秀な学生であり、語学能力試験に係わる要件を満たしていること
給付/貸与	給付
奨学金	40 万円
募集期間	・ 第 1 期：平成 27 年 6 月 22 日～7 月 17 日 ・ 第 2 期：平成 28 年 12 月 21 日～1 月 22 日
採択者数	計 5 名 ・ 美術学部／美術研究科より最大 2 名／年 ・ 音楽学部／音楽研究科より最大 2 名／年 ・ 映像研究科より最大 1 名／年

(2) 「語学学習奨励奨学金」

TOEFL 等の語学試験で所定のスコアを取得した学生に給付

語学学習奨励奨学金	
対象	正規課程に在籍する者（但し休学中は不可） 2015 年 7 月 1 日以降に、指定するいずれかの語学力検定試験を受験し、要件を満たす成績を収めた者。
給付/貸与	給付
奨学金	2 万円
募集期間	平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
採択者	最大 100 名／年

*応募書類は下記のウェブサイトにあります。

http://www.geidai.ac.jp/departament/center/global_support_center

※改訂することがありますので、最新情報はウェブサイトを確認してください

【問い合わせ先】 国際企画課国際企画係

メール：international@ml.geidai.ac.jp

電話：050-5525-2775（内線：2853）

◇学外の奨学金

日本人留学生に対する奨学金には、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）や外国政府、民間の企業や支援団体などから支給されるものがあります。派遣期間や申請資格、支給等の詳細は、国際企画課国際交流係までお問い合わせください。

（１）独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）

●長期海外留学制度

「海外留学支援制度（大学院学位取得型）」	
対象	修士または博士の学位取得を目指し、海外の大学に１年以上留学する学生 ※実技系の学生は対象外。
給付/貸与	給付
奨学金	・指定都市 148,000 円（パリ、ロンドン、ニューヨークなど） ・甲地区 118,000 円（北米・欧州・中近東） ・乙地区 104,000 円（プラハ、ブダペスト、シドニー、ソウルなど） ・丙地区 89,000 円（アジア、中南米、アフリカ）
参照	http://www.jasso.go.jp/scholarship/long_term_h.html

●短期留学推進制度（給費型）

「海外留学支援制度（協定派遣）」（給付型）	
対象	在籍大学を通じた諸外国大学との協定等に基づくプログラムに参加する学生（交換留学や大学のプログラムに参加する学生）
給付/貸与	給付
奨学金	・指定都市月額 10 万円（パリ、ロンドン、ニューヨークなど） ・甲地区月額 8 万円（北米・欧州・中近東） ・乙地区月額 7 万円（プラハ、ブダペスト、ソウルなど） ・丙地区月額 6 万円（アジア、中南米、アフリカ）
参照	http://www.jasso.go.jp/scholarship/short_term_h.html

※奨学金の地区区分については日本学生支援機構のウェブサイトで確認してください。

●第二種奨学金（短期留学）の貸与（利息付）

「第二種奨学金(海外)」(有利子貸与型)	
対象	海外の大学および大学院の正規課程（学位取得課程）への留学 日本の学校を卒業見込みの在学者および、卒業後2年以内の者
給付/貸与	貸与
奨学金	月額3万円・5万円・8万円・10万円・12万円の選択制
参照	http://www.jasso.go.jp/saiyou/ryuugaku17.html

●第二種奨学金（海外）の貸与（利息付）

「第二種奨学金（短期留学）」(有利子貸与型)	
対象	交流協定等に基づく留学、留学先の修得単位が帰国後認定される 留学および大学院生の外国の大学院等での研究を目的とする留 学、国内の学校に在籍し、海外の大学等に3か月以上の短期留学 をする者
給与/貸与	貸与
奨学金	月額3万円・5万円・8万円・10万円・12万円の選択制
参照	http://www.jasso.go.jp/saiyou/tanki_ryuugaku.html

●日本学生支援機構 海外留学奨学金検索サイト

「希望する課程」「国・地域」「専攻分野」を選択し、検索すると、対象となる奨学金情報が提示されます。奨学金や奨学金団体の名前で検索することもできます。

https://ryugakushogakukin.jasso.go.jp/scholarship_abroad/page?action=swfglsearchjasso

(2) トビタテ！留学 J A P A N

文部科学省は「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」を開始しました。官民協働で取り組む海外留学支援制度で、単位取得を前提としたアカデミックな留学だけでなく、インターンシップやボランティア、フィールドワーク等の活動を支援します。

トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム 第4期生	
対象	以下の要件を全て満たすもの ・平成27年8月21日から平成28年3月31日までの間に諸外国において留学が開始される。 ・留学期間が28日以上2年以内（3か月以上推奨）の計画。 ・留学先における受入れ機関が存在している計画。 ・在籍大学等が、教育上有益な学修活動と認める計画。 ・実践活動が含まれている計画。
給付/貸与	給付
奨学金	奨学金月額：指定都市 200,000 円 甲地区 160,000 円（北米、欧州、中近東（一部地域を除く））乙地区 140,000 円（指定都市、甲地区、丙地区以外）丙地区 120,000 円（アジア（一部地域を除く）、中南米、アフリカ） ※その他、往復渡航費の一部補助、上限額までの授業料の支援等を受けることができます。
採用予定人数	500 名
今後の募集予定	応募期間 第4期：2015年7月～10月末 第5期：2016年1月～4月 *支援対象となる留学の開始時期 第4期：2016年4月1日～10月末 第5期：2016年8月下旬～2017年3月末
参照	http://www.tobitate.mext.go.jp/

(3) 外国政府等による奨学金

外国政府、外国政府関係団体が、その国・地域の大学などへ留学する日本人を対象に実施する奨学金です。募集人員や時期等は国により異なります。随時、JASSO のウェブサイト「外国政府等奨学金留学生」のページにも最新の情報や詳しい案内が掲載されていますので参考にしてください。

<参考>

日本学生支援機構 JASSO 外国政府等の奨学金

http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/scholarship_foreign/

(4) その他の奨学金

前述の奨学金以外にも民間企業や団体、地方自治体等からの奨学金もあります。受入大学や専攻分野などが限定されている場合もあり、募集時期も様々です。ですのでご自身で調べる場合は、JASSO の「海外留学奨学金パンフレット」及び助成財団センターの「助成財団要覧・民間助成金ガイド」の最新版を参照されることをお勧めします。

<参考>

○JASSO 「海外留学奨学金パンフレット」

<http://ryugaku.jasso.go.jp/publication/pamphlet/>

奨学金情報欄に様々な奨学金が紹介されています。

○助成財団センター「助成財団要覧・民間助成金ガイド」

<http://www.jfc.or.jp>

助成金情報欄から奨学金情報を得ることができます。

7. 危機管理・保険について

(1) 留学前に準備しておくこと

留学前に健康面での安全を確保してください。渡航前に、危険回避対策として健康診断、歯科検診、予防接種などを受けておくことをお勧めします。

また、クレジットカードは海外で生活をする上で必需品です。ご自身のカードをお持ちでない方は留学前にカードを作成されることをお勧めします。IDカード類、パスポートの紛失に備えて写真や戸籍謄本を用意しましょう。

<留学前チェックリスト>

留学前に 準備して おくこと	01	健康診断	留学に行く前に不調はないか確認しましょう。
	02	歯科検診	歯科治療が非常に高額な国がありますので日本で治療を済ませておきましょう。
	03	予防接種	留学先の事情を調べ、事前にワクチンを受けておきましょう。
	04	クレジットカード	海外生活の必需品です。持っていない方はカードを作成されることをお勧めします。
	05	写真	身分証明書などで必要となることがありますので複数枚用意しておきましょう。
	06	戸籍謄本	パスポートを紛失した場合、再発行の手続きに必要です。万が一の場合に備えて用意しておくことをお勧めします。

(2) 留学先での危機管理

海外へ留学する際は、事前に留学先地域の治安情勢や犯罪傾向等を十分に把握し、事故やトラブルに巻き込まれないよう日頃から十分に注意してください。

日本と留学先では安全性が異なります。また、不慣れな場所での生活では事故や窃盗などの被害に遭う可能性が高くなります。日没後に1人で出歩くこと、大金を持ち歩くこと、鞆を開けたまま歩くこと、席に荷物を置いたまま離席することなどの軽率な行動は避けましょう。危険なトラブルに自ら足を踏み入れないように注意してください。

各国の治安状況に関しては、外務省の海外安全ホームページに最新の情報が掲載されていますので、必ず確認してください。

<参考>

外務省 海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp>

◇外務省の登録サービス

災害時などに、日本国大使館や総領事館が登録している所在地や緊急連絡先を確認して援護します。

**3ヶ月以上の
滞在者は義務**

在留届

旅券法第16条により、外国に住所または居所を定めて3ヶ月以上滞在する日本人は、その地域の日本の大使館または総領事館(在外公館)に「在留届」を提出することが義務付けられています。

届け出は、実際に現地に行った後に行なうものです。住所等が決まったら在留届を提出しましょう。提出方法はインターネット、持参、FAX、郵送にて行うことが可能です。

外務省「「在留届」をご存知ですか？」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>

**3ヶ月未満の
渡航者が対象**

たびレジ

海外旅行や海外出張される方が、旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の渡航情報や緊急事態発生時の連絡メール、緊急連絡などが受け取れるシステムです。

「たびレジ」を利用すれば、滞在先の最新の渡航情報や、在外公館などから緊急時情報の提供を受けることができ、在外公館からの緊急一斉連絡メールなどを受信することもできます。

外務省「たびレジ」

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

緊急連絡先

留学先大学

担当:

Tel:

Email:

日本大使館・領事館

担当:

Tel:

Email:

東京藝術大学

担当: 国際企画課 国際交流係

Tel: +81-50-5525-2067

Email: intl-tua@ml.geidai.ac.jp

本人の家族

名前:

Tel:

Email:

緊急連絡先を確認し記入しておきましょう。

(3) 海外旅行保険

国により医療事情は大きく異なります。留学先でケガや病気になる可能性も考え、それら医療費を十分カバー出来る保険を事前にかけておきましょう。外務省の世界の医療事情のサイトには各国の医療事情や、日本語で対応可能な医療機関も掲載されています。よく読んで把握しておいてください。

北米などは歯科医療が非常に高額です。長期に渡る留学をする場合には、歯科検診を事前に受けることをお勧めします。

また、持病のある人は、渡航前のかかりつけの医師との相談や薬を持っていくことも忘れないでください。

<参考>

厚生労働省検疫所ウェブサイト FORTH 海外で健康に過ごすために
<http://www.forth.go.jp>

外務省の世界の医療事情
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

留学する際に関係する保険制度についての一般的な説明です。留学先の大学によって加入しなければならない保険の種類や内容が異なりますので、詳細については各保険会社等に相談してください。

①留学先大学独自の保険

留学先大学によっては、大学独自の保険の加入を義務付けているところがあります。

交換留学の場合については、受入の許可が決まり次第、相手先大学より案内がある場合もあります。

②海外旅行傷害保険（留学保険）

留学中の事故や病気、法律上の賠償金を支払う必要が生じた場合（他人にケガをさせた、高価な商品を壊した場合）等、保険金が支給されます。いずれの国へ留学する際にも当該保険には必ず加入してください。

<参考>

JJ 傷害保険 <http://www.jihoken.co.jp/>

AIU 保険会社 <http://www.aiu.co.jp/travel>

海外旅行保険比較サイト(株式会社アイ・エフ・クリエイト) <http://www.i-hoken.jp>

③学生教育研究災害障害保険（学研災）

協定校への交換留学の場合、その協定校（交換留学中）における正課中等の事故については学研災の対象となります。学研災の詳細については。学生課総務係でご確認ください。

④国民健康保険

国民健康保険には海外療養費支給制度があり、被保険者が海外で病気やケガで治療を受けたときに、医療保険が適用され、支払った医療費の払戻請求ができます。事前に最寄りの市区町村の役所に確認してください。

<参考>

台東区役所（海外療養費診療内容明細書等）

<https://www.city.taito.lg.jp/index/benri/download/kokuho/kaigairyoyo.html>

⑤クレジットカード付帯海外旅行保険

保険内容、適用条件など各会社によって異なりますので、詳細は各クレジットカード発行会社に問い合わせてください。

※クレジットカード付帯の保険は非常に簡易なものである場合が多いため、これらの保険に加入している場合でも、必ず上記②の海外旅行傷害保険（留学保険）にも加入してください。

8. その他

独立行政法人国際協力機構（JICA）「世界の様子(国別生活情報)」

<http://www.jica.go.jp/regions/seikatsu/index.html>

＊途上地域の基本情報など生活に必要な情報が紹介されています。

一般社団法人「留学サービス審査機構（J-CROSS）」

<http://www.jcross.or.jp/list/>

＊私費留学をする方が利用する留学斡旋業者の信頼度に関する情報が掲載されています。

東京藝術大学 国際交流校一覧

http://www.geidai.ac.jp/office/kenkyo/index_kyoteiko.html

＊本学と交流のある海外大学の一覧です。

この冊子に追加してほしい情報があれば、お気軽にご連絡ください。

【問い合わせ先】国際企画課国際企画係

メール：international@ml.geidai.ac.jp

※この冊子は留学先まで持っていくようにしてください

「海外渡航届」 は提出しましたか？

海外でテロ事件などが起きた場合でも、事前にあなたの滞在先を大学に伝えておくことで、大学からあなたへの連絡がスムーズになります。

**「海外渡航届」 は Web フォームです。5 分程度で入力できます。
CampusPlan または QR コードからアクセスしてください。**

